

平成 30 年度日本植物病理学会関西支部会のお知らせ

平成30年度関西支部会開催地委員長 伊藤真一

平成30年度日本植物病理学会関西支部会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

I. 日程と会場(時刻は予定です)

- ・日時：平成30年9月27日(木)
 - 12:00～ 受付 <共通教育棟1階15番教室>
 - 13:30～14:30 総会 <共通教育棟1番教室>
 - 15:00～18:00 一般講演 <共通教育棟、第1～3会場>
 - 18:30～20:30 情報交換会 <キャンパス食堂 ポーノ>
- ：平成30年9月28日(金)
 - 9:15～12:30 一般講演 <共通教育棟、第1～3会場>
- ・会場：山口大学 吉田キャンパス{〒753-8511 山口市吉田1677-1 (<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>)}

II. 参加申込

- ・締切：平成30年7月31日(火) 17:00
- ・費用：参加費**3,500円**(講演要旨集1部を含む, 8月1日以降は4,500円),
 - ：講演要旨集のみ1部**2,000円**,
 - ：情報交換会費**5,000円**(学生**3,000円**)
- ・要領：同封の郵便振替払込取扱票(口座番号:**01350-6-106878**, 加入者名:平成30年度日本植物病理学会関西支部会)(他行からの振込みをされる場合は、ゆうちょ銀行 店名:一三九(イチサンキュウ)店, 当座, 口座番号:**0106878**)に必要事項を記入し、締切日までにご送金ください。郵便振替払込取扱票による送金をもって部会参加の申し込みとします。整理の都合上、払込用紙は参加者1名ごとに1枚をお使いください。払込用紙をさらに必要とされる場合は、郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。その場合、通信欄に送金内訳と住所を記入して下さい。**講演要旨集と名札/領収書は当日受付にてお渡しします。講演プログラムは9月初旬に学会HPにて公開します。**名札は領収書を兼ねますので、部会参加期間中は必ず携帯してください。なお、当日参加されなかった場合には、講演要旨集と名札/領収書を後日お送りします。払込用紙の通信欄のコピーを名札および講演要旨集などの送り先情報として使いますので明確に記入して下さい。

III. 発表申込

- ・締切：平成30年7月31日(火) 17:00
- ・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員(平成30年度会費納入者)で、1人1題のみとします。発表希望者は、末尾「講演要旨原稿作成要領」に従って講演要旨原稿をMS Wordのファイルで作成し(講演要旨様式テンプレートファイル(H30Kansai_form.dotx)は、日本植物病理学会ホームページ{研究集会(2018)ー関西支部会}からダウンロードできます)、E-mail添付ファイルとして本年度の関西支部会プログラム編集委員会のアドレス(h30bukai-ag@mlex.cc.yamaguchi-u.ac.jp)宛にご送付下さい。E-mailの題名(件名)は、「要旨」+「:」+「発表者氏名」として下さい。また、添付ファイル名は「発表者氏

名.docx」として下さい。原稿が正しく受け付けられた場合には、受け取りのメールを送付者宛に返送します。受け取りのメールは1～3日で送付しますが、届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付して下さい。講演要旨原稿送付をもって発表の申し込みと致します。なお、講演要旨は座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

IV. 発表の形式と要領

- ・発表形式：発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。
- ・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて12分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。発表用ファイルは、前もってWindows版「PowerPoint 2013」で正常に表示されることを必ずご確認ください。ウイルスチェックをお済ませの上、USBメモリーに保存してください。ファイル名はすべて半角英数字で「講演番号-発表者姓.pptx」として下さい（例「001-Ito.pptx」）。発表用ファイルは、部会初日に発表の方は27日午後2時までに、2日目に発表の方は27日午後5時30分までに、共通教育棟1階15番教室にてパソコンにコピーし動作確認をお願いします。お持ちいただいたUSBメモリーはその場で返却致します。なお、サイズの大きいファイルはパソコン動作に不具合をきたすことがありますので、なるべくファイルサイズを小さくしてご準備ください。

V. 宿泊と交通

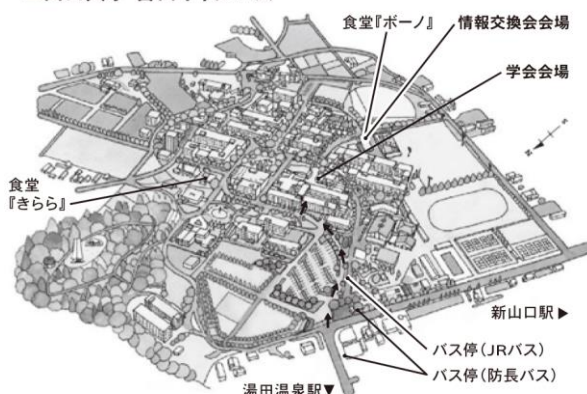
開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋を行いませんので、各自で手配をお願い致します。会場の山口大学近辺には宿泊施設がありません。JR山口線湯田温泉駅あるいは新山口駅周辺でのご宿泊をお勧めします。ビジネスホテルの数に限りがありますので、早めの宿の確保をお願い致します。

＜会場までのアクセス＞※駐車場が限られておりますので、車でのご来場はお控えください

- ・JR新山口駅 → JR山口線各駅停車19分 → 「湯田温泉駅」下車、南へ約1200m、徒歩約15分（下左図参照）
- ・JR新山口駅5番バス乗り場（北口） → 防長バス平川経由30分 → 山口大学前バス停 → 徒歩3分 → 吉田キャンパス
- ・山口宇部空港 新山口駅行きバス乗り場 → 宇部市営バス（特急）37分 → JR新山口駅（終点）、乗換（5番バス乗り場） → 防長バス平川経由30分 → 山口大学前バス停 → 徒歩3分 → 吉田キャンパス
- ・湯田温泉地区（宿泊ホテル）からバスでのアクセス：JRバスおよび防長バスのバス停（湯田温泉あるいは下湯田）から乗車5分 → 山口大学（JRバス）あるいは山口大学前（防長バス）で下車



■山口大学 吉田キャンパス



VI. 昼食, 無線LANについて

昼食は, 食堂(きらら、ボーノ)がご利用できます。大学近辺には飲食店およびコンビニエンスストアが数軒あります。開催期間の2日間, インターネット接続サービスとしまして, 吉田キャンパスのWi-Fi(無線LAN)を利用できるIDを発行致します。利用を希望される方は当日受付でお申し付けください。

VII. 連絡先

平成30年度関西西部会の各種お問い合わせ等は関西西部会開催地事務局へお願い致します。

・平成30年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1 山口大学農学部生物資源環境科学科

TEL:083-933-5846(伊藤真一), 083-933-5845(佐々木一紀)

E-mail:h30bukai-ag@mlex.cc.yamaguchi-u.ac.jp

H30年度関西西部会講演要旨原稿作成要領(昨年度と同じです)

※講演要旨様式テンプレートファイル(H30Kansai_form.dotx)が, 日本植物病理学会ホームページ{研究集会(2018)ー関西西部会(<http://www.ppsj.org/meeting.html>)}からダウンロードできます

<全体の大きさ>

- ・和文講演者氏名から所属略称までが, 縦73 mm, 横161 mm の枠に収まるようにする。
- ・1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとすること。

<ページ設定>

- ・用紙サイズ:A4用紙, 縦方向。
- ・余白:上 15 mm, 下 30 mm, 左 25 mm, 右 25 mm。
- ・文字数と行数:「文字数と行数を指定する」を選択し, 文字数50, 字送り9 pt, 行数51, 行送り14 pt。

<配置>

両端揃え(所属略称のみ右端揃え)

<フォント>

- ・フォントサイズ:すべて9 pt。
- ・日本語用フォント:平成明朝またはMS明朝(但し和文題目のみ平成角ゴシックまたはMSゴシック)。
- ・英数字用フォント:Times New Roman. すべて半角。
- ・句読点:「,」「.」
- ・イタリック指定:題目, 本文中とも, 学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記。

<和文講演者氏名>

(1行)講演者が複数の場合は中点「・」で区切り, 発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には, 上付き番号「¹」「²」で区別する。

<和文題目>

(2行以内)フォントは平成角ゴシックまたはMSゴシックとする

<英文講演者名と英文題目>

(2行以内)氏名は, family name, first name initial, middle name initial の順に書き, initialの間にはスペースを空けない. 講演者名と英文題目の間は, コロン「:」で区切る.

<本文>

9行以内で記載する.

<所属略称>

(1行)括弧「()」に入れ, 右端揃えとする. 複数の場合は中点「・」で区切り, 和文講演者氏名に対応させて上付き番号「¹」「²」をつける.

<講演要旨原稿の下に, 以下の情報を記入>

- (1) 発表希望分野(「菌類病」, 「細菌・ファイトプラズマ病」, 「ウイルス・ウイロイド病」, 「植物保護」の中から1つ選ぶ)
- (2) 発表内容(「分類・同定」, 「検出・診断」, 「病原体の性状」, 「発生生態」, 「感染生理」, 「病原性・抵抗性」, 「防除薬剤・薬剤耐性」, 「生物防除・防除法」, 「その他」の中から1つ選ぶ)
- (3) 対象植物(和名または学名で示す)
- (4) 対象微生物(和名または学名で示す)
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者のE-mailアドレス
- (7) 発表者の学会会員番号(会員番号は封筒の宛名シールに記載されています. 平成30年度会費未納の方は, 至急会費をお支払いください.)

講演要旨集原稿の例(本文は9行以内を厳守)

○坂根光星¹・安藤彩香²・佐々木一紀¹・伊藤真一¹

Fusarium oxysporum f. sp. *cepae*の病原性染色体候補の解析

Sakane, K., Ando, A., Sasaki, K. and Ito, S.: Analysis of putative pathogenicity chromosomes in *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae*. タマネギおよびネギを宿主とする*Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae*(FOC)のドラフトゲノム解析の結果, タマネギFOCは約4.0 Mb, ネギFOCは約3.0 Mbの染色体が病原性染色体である可能性が示唆された(H28年度大会). これら染色体の詳細な解析を行うために, 染色体DNAをCHEFゲルから抽出し, 次世代シーケンサーに供試した. アテーション付けによって遺伝子の機能を推定した結果, それぞれの染色体上には *SIX*ホモログを含む病原性関連因子が多数座乗しており, その中には *SIX*遺伝子の転写因子 *SGE1* も含まれていた. しかしながら, 両染色体上に存在するエフェクター候補遺伝子は大きく異なっていた. さらに, エフェクター候補遺伝子上流の *mimps* の有無を確認したところ, タマネギFOCにおいて *mimps* は確認されなかった. トマト萎凋病菌(FOL)においては, *SGE1* は病原性染色体以外の染色体に座乗しており, エフェクター上流には *mimps* が多数観察されていることから, FOCの病原性染色体候補はFOLとは異なる構造を形成していることが示唆された.

(¹山口大院農・²鳥取連大)

- (1) 菌類病
- (2) 感染生理
- (3) タマネギ, ネギ
- (4) *Fusarium oxysprum* f. sp. *cepae*
- (5) 伊藤真一
- (6) xxxxxxxx@yamaguchi-u.ac.jp
- (7) 202337